

日本ゲームカード株式会社 代表取締役社長 山田明さん



企業経営も社会的責任も
ビジョンをもって臨めば道は開ける

AJOSCの活動を支援して頂いている日本ゲームカード株式会社の山田明 代表取締役社長に企業の社会的責任についてお話を伺いました。

Q1 企業概要について

●まず日本ゲームカードの特色を教えてください。

当社はパチンコホール向けのプリペイドカードシステムを提供しています。具体的にはホールにカードユニット等の機器やカードを販売し、これらを利用した決済サービスをパチンコホール向けに提供しています。当社のシステムが利用されるパチンコ産業の市場規模は、年間約23兆円という巨大な市場です。この市場において、当社は加盟店舗数で業界首位、約40%のシェアを持っています。

●パチンコ業界へのプリペイドカード導入の経緯について教えてください。

当社は、平成元年に設立されています。当時、遊技業界の健全化が社会問題となっており、その改善のために、売上げデータを客観的に把握・管理でき

る第三者発行型カードによるカードシステムをパチンコホールに普及させようとの機運が業界全体で高まりました。そこで、監督官庁である警察庁とも相談しながら進めてきたという経緯があります。

●企業の存在自体が社会的使命を帯びているということですか。

そうですね。パチンコ業界の健全化の問題は過去国会でも論議されており、国税庁など政府側は、第三者発行型カードによるカードシステムが経理の透明化、業界健全化に大いに効果があると答弁しています。従って、遊技業界の健全化に貢献することを使命とした会社であると考えています。

Q2 経営方針について

●ここ数年、業界を取り巻く環境は厳しいと思いますが、山田社長の取り組みについて教えてください。

厳しい環境が続くことを前提に経営を考えないといけないと思います。私は、「チェンジ」「スピード」「コンプライアンス」の3つのキーワードを念頭に置きつつ、事業を推進しております。ホール経営の皆様もファン層の拡大や収益力

の向上を目指し、1円パチンコに代表される低玉貸営業を導入するなど様々な経営努力をなされています。そういった、ホール経営の皆様のニーズに応えていくためには、常に柔軟な発想を持ってチャレンジを続ける「チェンジ」が重要です。そして、そういった「チェンジ」を「スピード」感を持って臨んでいく必要があります。

また、「コンプライアンス」、言うまでもないことですが、上場企業として法令遵守の重要性を常に認識しております。業界の健全化を経営理念としている当社は、自らも率先して健全な企業経営を示していかなければなりません。社内外の方が当社に対して持つ信頼感・信用を一層高めていくことが最も重要です。

Q3 企業の社会的責任について

●企業の社会的責任(CSR)に対する要請が高まってきている昨今ですが、その点についてのお考えをお聞かせください。

当社の経営理念は、「カード事業を通じてレジャー産業の健全な発展に貢献し、豊かな社会の実現を目指す」

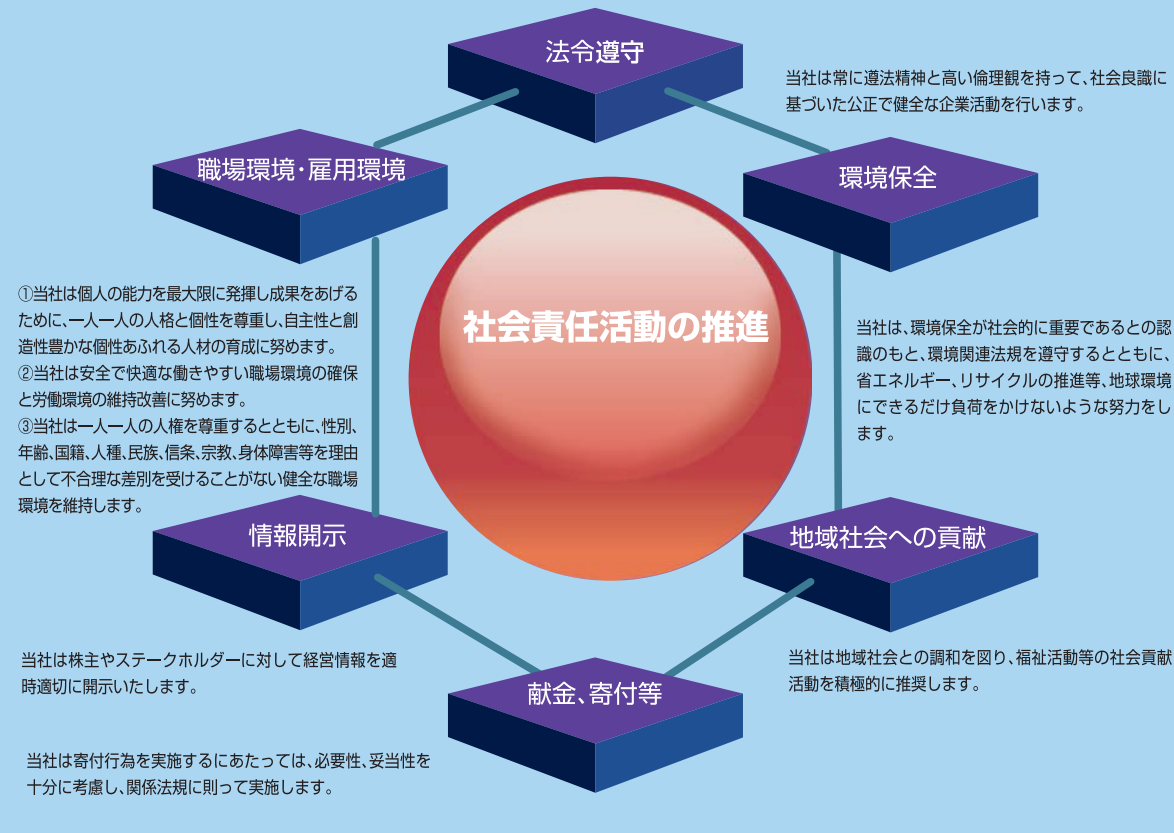


全日本社会貢献団体機構 山下頼充 専務理事(写真左)のインタビューに答える、日本ゲームカード株式会社 山田明 社長

日本GCのCSR
(企業の社会的責任)

日本ゲームカード株式会社は、カード事業を通じてレジャー産業の健全な発展に貢献し、豊かな社会の実現を目指します。

企業の社会的責任(CSR)に対する要請が更に拡大、強化される今日。当社は、常にお客様本位に考え、お客様と手を携えて遊技業界の健全な発展に貢献するという社会的使命を一層重く受け止め、行動します。



ことにあります。当社は、このミッションを実現していくことで、これまで以上に社会から求められる存在として、自らの存在価値を高めていくことが必要であると考えています。

一般に企業は経済的な利益を上げることにより永続的な存在を目指すものですが、企業の価値は単に利益のみによって計れるものではありません。企業も社会の一員として、守るべきルールを守り、果たすべき役割を果たさなければなりません。そして、近年は、それにとどまらず、未来への投資の一環として持続可能な社会を実現するため、環境問題など様々な問題について企業が主体的に貢献することが求められています。その意味で、これからの企業は、未来に対して責任を持ち、未来を創っていくという考え方を持っていないといけないと思っています。

●具体的にどのような取り組みをなされていますか。

環境はもちろん、労働安全衛生・人

権、雇用創出、品質、取引先への配慮など、すべてのステークホルダーの方々へ真摯な姿勢で接することが、社会的責任経営の基礎と考えています。より良い社会・持続可能な地球環境の維持に貢献していくために、企業として何ができるのか、何をすべきかを追求していく姿勢が大切です。当社は第三者発行型カード会社として、万一ホールにおいて不測の事態が起きた場合でも、ファンがお持ちのカード残高については出来るだけ速やかに補償させていただいておりますが、そういったこともその一つです。特に環境問題については、社会の関心が高く、ホール経営の皆様もそれぞれ課題に取り組んでいらっしゃると思いますが、当社としても、環境にやさしい商品・サービスに力を入れていきたいと考えています。また、現在では全日本社会貢献団体機構の社会貢献活動に

ついて支援させていただいております。

Q4 全日本社会貢献団体機構の活動について

●私どもの活動についてご提言をいただけますか。

提言なんてとんでもありません。志を同じくする者として心強く思っております。全日遊連は、それぞれの地域で長年にわたって地道な社会貢献活動に取り組んできたという歴史がありますが、機構の設立によってこれらの活動を全国規模に広げ、ファンはもちろん、社会一般の方々にも喜んでもらいたいような貢献活動をさらに展開して、業界のイメージアップ・発展につなげてほしいと思います。そのために当社も可能な限り支援していくつもりです。これからもよろしく申し上げます。

聞き手: 山下頼充 全日本社会貢献団体機構 専務理事



日本ゲームカード株式会社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-28-13
tel: 03-5469-7777 http://www.gamecard.co.jp